

# 書林編纂書目板元名寄 (二)

— 元禄九年・元禄九年（後修）・

元禄十一年・宝永三年・宝永六年・正徳五年 —

市 古 夏 生

本誌27号に(一)を載せた時に凡例を執筆したので、今回は紙幅の都合もあり凡例は割愛した。なお、(一)の修正を以下に記す。

秋田や市の儒の部に、「五経音注（DE二八匁、F三三匁）」を入れる。

F六匁」を入れる。

いせや新

伊勢屋新兵衛。大坂（徳川集賢）。

新や十兵（新や十・新十）に「徳田十・徳田や」を加え、儒

儒 神道故実問答（一冊、A↖F二匁五分）

の部に、「異名集（一冊、A↖E二匁五分、F三匁五分）」、仏  
の部に、「番神問答（下部兼俱、A↖E一匁、F二匁五分、▼四  
間中間（AB）、▼中ノ五郎（C↖F）」を入れる。

飯 一休閑東漸（三冊、A↖F一匁五分）・一休咄小本（四  
冊、A↖F一匁五分）・河海物語（二冊、A↖F一匁五分）  
・可笑記跡追（五冊、A↖F三匁）・塵劫記三つ切（一冊、  
Cナシ）・神道物語（一冊、A↖E一匁三分、Fナシ）・

いづみや十の次に「いづみや八ノ山本八」を入れる。

万民今川（一冊、A↖E四分、Fナシ）・一節切の抄（一

いづも寺（林和泉・林泉・林いづみ・いづみ・和泉・泉）に  
「白水」を加え、儒の部に、「有職問答（五冊、A↖E五匁、

冊、A↖E六分、Fナシ）・発心後世か、み（二冊、A↖

F 九分)

仏 太子伝様抄(二冊、A 1 F 二匁)・六時礼讃口伝(一冊、A 1 E 三分、F ナシ)

磯田

飯 千代百人一首大全(一冊、D 1 F 二匁一分)

伊丹や(いたみや)

儒 伊呂波韻大成(三冊、C 1 F 六匁)・古暦便覽備考(四冊、中根元珪、A 1 F 三匁)・初学天門指南(五冊、信武、D 1 F 七匁)・節用集不求人(E F 四匁)・節用集万華(一冊、F 五匁五分)・節用集万代(一冊、D 三匁、E F ナシ)

・天文図解(五冊、井口常範、A 1 C 一〇匁、D 1 F 七匁)  
・本朝文粹(一五冊、藤原明衡、F 二〇匁)

医 仮名安駟集(一〇冊、道派抄謄、F 一七匁)・婦人良方半切(一〇冊、A 1 E 八匁五分、F 一〇匁五分)

飯 千代百人一首千載(F 二匁五分)・見ぬ京物語(三冊、A 1 F ナシ)

仏 虚空蔵求聞持(二冊、空性、D 1 F 二匁五分)・三部経字引(一冊、C 1 E 八分、F ナシ)・禅関策進首書(三冊、C 1 F ナシ)

伊丹や吉(伊丹吉・いたみ吉)

伊丹屋吉右衛門。住居は京都押小路鳥堀東へ入町(延宝七年刊)古今和歌集、鷹羽屋仁左衛門と相板)とも、押小路通橋町(延宝七年刊、「一休品物語」とも記す。

儒 荒政要覧(四冊、雲間金汝為輯、A B 九匁、↓林九)

倭国軍記(一冊、A 1 F ナシ)

飯 調花顯露(三冊、A 1 F ナシ)

伊丹や太郎(伊丹や太)

伊丹屋太郎右衛門。住居は大坂堀本町(元禄五年刊)世間胸算用。「国花万葉記」の「香林物之本屋吉本」に「から木丁 伊丹や太郎 右衛門」とある。

儒 節用集和玉入(二冊、A 1 F 二匁八分)・千字文五躰名象字入(二冊、A 1 E 二匁、F 二匁七分)

医 食物備考大成和解(三冊、C 1 E 三匁二分、F 三匁五分)

石 千字文五躰名象字入(A 1 E 二匁、F 二匁五分)  
いたみや与兵

飯 鑑考秘集(一冊、A 1 E 一匁三分、F ナシ)  
一文じ三郎右(一文じや三郎・一文字や・一文じや)

一文字屋三郎右衛門。  
儒 九相詩首書(一冊、稻垣竜軒、A 1 E 八分、F ナシ)

医 回春假名付(八冊、A↖C八匁五分、DE一〇匁五分、F一二匁五分)

飯 改算記(二冊、山田正重、A↖D一匁五分、EF一匁八分)・改算記新板(A↖F一匁八分)・改算記頭書(六冊、持永十郎兵衛、A↖C四匁、D五匁、E五匁五分、F六匁五分)・浄土安心物語(二冊、A↖Fナシ)・和歌題林抄(能因法師、A↖D二匁三分、E二匁、F三匁、▼ひのや佐)

伊藤勳

儒 卓氏藻林(二〇冊、C↖E二五匁、F三八匁)

井上

ほとんどが井上忠兵衛の蔵板と思われる。

儒 韻学摺拾(三冊、吉水季衝仲獄甫藏、C二匁八分、DE三匁、F四匁、↑戸嶋窓)・韻鏡叶韻弁(四冊、C↖F三匁五分、↑風月消□)・易学啓蒙意見(四冊、韓節奇図、C↖F七匁)・五行大義(DEE七匁五分、F九匁五分)・四書小本並無点(二冊、F二匁五分、↑秋田五郎)・神道要決(一冊、龍尚舎、DE一匁二分、Fナシ)・入学図説(二冊、陽村、F三匁五分、↑丁子や仁)  
飯 八まん愚童訓(三冊、CD三匁、EF四匁、↑小紅や)

仏 華嚴音義(二冊、F三匁)・華嚴孔目章(四冊、F八匁)・華嚴五教止観并十玄問(一冊、F三匁)・華嚴五十要問旨(二冊、F三匁七分)・華嚴文義綱目(一冊、F三匁)

・華嚴法界義鏡(二冊、F三匁七分)・華嚴問答(二冊、法藏、D↖F三匁)・護身功能抄(二冊、明恵、A↖E八分、Fナシ)・拾穂書(三冊、羊歩、F三匁、↑秋田五郎)・百法問答私図(四冊、榮観、C↖E三匁五分、F四匁五分、↑村上)・傳大士録(二冊、Fナシ)・明恵伝記(三冊、F三匁五分、↑上村)

井上忠兵へ(井上忠兵・井上忠)

井上忠兵衛。住居は京都五条(「書買集覧」)。筆者の手控えによれば、井上が関与した出版書は、元禄三年刊「法華経和訓」、元禄八年刊「円覚経略疏解」、元禄十年刊「易学啓蒙意見」、同年刊「四陽雜俎」、元禄十五年刊「大乗法苑義林章」、宝永五年刊「俱舍論頌疏」があるが、京都の本屋なることが判明するだけで、「五条」と明示するものはない。

儒 伊呂波韻(一冊、C六分、↑長尾平)・伊呂波韻(一冊、D↖Fナシ)・五経カナ付(A↖E二五匁、F三五匁、▼梅村弥)・古文後集絵入(二冊、A↖F三匁)・古文後集片カナ(二冊、AB二匁三分、C↖E五匁、F六匁、▼藤田小)・四書片カナ付(六冊、AB四匁五分、C↖E五

夕、F六夕、▼平野庄<sup>(注2)</sup>・七書小本(二冊、A↖E三夕、  
 F四夕)・集義和書(一六冊、熊谷了海、A↖D一六夕、  
 E一八夕、F二〇夕、▼中村)・職原抄支流大本<sup>(注3)</sup>(A B二  
 夕、C↖F三夕)・占卜和抄(四冊、意林、C↖F六夕五  
 分)・莊子白文カナ付(五冊、D↖F八夕)・統古文(二冊、  
 A↖E五夕、F六夕)・杜律新版(六冊、宇津宮由の点、  
 A↖C五夕五分、D E六夕五分、F七夕五分、▼西村市)  
 ・杜律白文片カナ付(六冊、A↖E五夕五分、F七夕五分)  
 ・酉陽雜俎(一〇冊、C一五夕、D E一七夕、F二二夕、  
 ▼永原孫)・要馬秘極抄中本(A↖E一〇夕、F一二夕、  
 ▼舛や加)  
 医 衆方規矩片カナ付三ノ(A↖C一八夕八分、D↖Fナシ)  
 飯 かた言葉(五冊、C↖F三夕五分)・万年曆首書(二  
 冊、A↖E一八夕五分、F二八夕五分)  
 仏 孟蘭盆経科(一冊、A↖E六分、Fナシ)・俱舍光記  
 (三〇冊、普光、D↖F八〇夕)・俱舍序記(二冊、法遊、  
 D↖F一八夕五分)・俱舍序行抄(一冊、鳳潭、D↖F一八  
 五分)・俱舍序纂注(一冊、D↖F二八夕三分)・俱舍宝記  
 (三〇冊、法宝、D↖F七〇夕)・光明真言觀誦要門(二  
 冊、淨嚴、A↖F二八夕五分)・光明真言讚談抄(二冊、惠

淨、A↖F二八夕五分)・高野往生伝(一冊、A↖Fナシ)  
 ・三教指帰片カナ付(二冊、A↖Fナシ)・四声開合鈔(一  
 冊、A↖E五分、Fナシ)・四度印図再治中本(二冊、A  
 ↖E二夕、F三夕)・十住心論肝要抄(三冊、重誓、A↖  
 E三夕五分、F五夕五分)・性靈集片カナ付(五冊、A↖  
 E五夕、F七夕)・真言施餓鬼科注(一冊、惠淨、A↖F  
 一八夕五分)・真言施餓鬼作法(二冊、淨嚴、A↖F五分)  
 ・真言二時食作法(一冊、淨嚴、A↖F五分)・真言付法  
 伝纂解(五冊、運敵、D↖F六夕、↑前川)・真言付法伝  
 (二冊、空海、D↖F四夕、↑高野山)・真言付法伝鈔(三  
 冊、D↖Fナシ)・不思議疏略抄(三冊、亮汰、A↖Fナ  
 シ)・曼荼羅秘決(二〇冊、C↖F一五夕)・略述法相義  
 (三冊、A↖E五夕、F六夕)・量処輕重義(二冊、道宣、  
 A↖F二八夕五分)・兩部句義抄(四冊、A↖E四夕、F五  
 夕)  
 いのくま通中立り  
 『浄家寺鑑』跋の末に「時維寛文八戊申曆/秋八月時正日/森本氏  
 徳之助/是を開板せしむるもの也/所は洛陽猪熊通中立亮上ル小寺  
 町」とあり、即ち森本氏の自家蔵板なることを知る。その居住地を  
 板元名の所に記したのである。  
 飯 浄家寺鑑(四冊、森本迪庵、A↖D三夕、E F二夕)

院坊(印坊)

儒 銀津文集(一〇冊、A B一五匁、C E二〇匁、F ナシ)

仏 永嘉集(二冊、沙門玄覺、A E三匁、F ナシ)・円

覚経註注(三冊、元邦、C F ナシ)・円語録(六冊、A

F ナシ)・偽経目録(二冊、明佳、A B ナシ)・偽経目

録(二冊、明全、C F ナシ)・景德伝燈録(二〇冊、A

E四五匁、F ナシ)・華嚴經合論(四〇冊、C F 金二

両)・五燈教燈(二〇冊、往山費隱禪師、A E 金一両、

F ナシ)・縮門警訓(四冊、A E 八匁、F ナシ)・證誠

集(三冊、A B ナシ、↓林久二)・禪宗綱目(二冊、證定、

A 一匁二分、↓風月三)・禪波羅密(一〇冊、A E 一三

匁、F ナシ)・仙保鈔(二〇冊、印融、A F ナシ)・大

惠書譜説(五冊、C F 二五匁、↑田原仁)・伝燈録(二

〇冊、A B 三八匁、C F ナシ)・伝燈録統(六冊、吳郡

文瑒、A E 八匁、F 一〇匁)・伝法正宗記(六冊、沙門

契嵩、A F ナシ)・涅槃經疏(一五冊、章安大師、A

E 三〇匁、F ナシ)・法華要解(七冊、戒衆、A E 一〇

上嶋瀬

匁、F ナシ)・密部諸儀軌(七五冊、A F 二一〇匁)

上島瀬平。住居は京都(元禄十年刊「中華事始」)。具原益軒の「雑記用」に「瀬平 二条通東洞院西へ人町北かは」とあり、また別項には「本屋瀬平 二条通東洞院西二入町」ともある。益軒と交遊のある本屋である。

飯 日本釈名(六冊、具原益軒、D E 五匁、F 六匁)

上野や市

飯 なら土産(三冊、A C 三匁三分、↓吉田三)

上村

儒 近思録統録(六冊、党軒蔡模、A C 六匁、↓舛や五

九千句(二冊、A F 二匁五分)・軍鑑(二〇冊、高坂

弾正、C 二〇匁、↑安田、↓村上)・関里志(二一冊、A

E 一五匁、↓田中庄)・広韻(二冊、准興六階袁鳴秦築

輯、A E 二匁、F 三匁)・孝経(一冊、A E 五五分、F

ナシ、▼平のや佐)・孝経講草抄(六冊、小出栄庵、A

E 五匁五分、↓いづみ)・江家次第(一九冊、A D 三五

匁、E 三八匁、F 五〇匁、▼吉田)・耕織図(二冊、A

E 三匁五分、↓吉田三)・五経安昌点(A C 二〇匁、D

E 二五匁、F 二八匁、▼村上・風月)・古文後集十三抄(A

F 一二匁)・困知記(五冊、羅整庵、A C 六匁、↓大坂権)・才子伝(五冊、文房、A E 五匁五分、↓大坂)

・三杜託宣抄(二冊、A↖D八分、E一匁三分、↓村上勸)  
 ・指月庵詩集(二冊、A↖E八分、Fナシ)・芝山別集(二冊、谷三介作、A↖F二匁五分)・四書集註(八冊、文師点、A↖C八匁、DE一〇匁、↓新や十)・四書集註小本(一〇冊、A↖C五匁、DE六匁、F不明)・四書章句大成(二三冊、A↖E五〇匁、F六〇匁)・四書淺說(二三冊、明陳紫峰作、A↖E二〇匁、F三〇匁、▼武村)・自省録無点(二冊、A↖E三匁、Fナシ)・釈名(四冊、漢熙成國撰、A↖E三匁五分、F四匁五分)・朱子節要(二〇冊、A↖F三五匁)・春秋林堯叟(二五冊、林唐翁解・杜預序、A↖C四二匁、DE四五匁、F六〇匁)・小学句読定注(A↖E四匁、F六匁)・小学句読無点(四冊、A↖E八匁六分、↓ふしみや)・女官志(一冊、A↖E一匁、↓□□□)・神社考六卷(林道春、A↖C四匁五分、D六匁五分、E七匁五分、F八匁五分)・聖賢像贊(四冊、A↖E三匁五分、↓F□□□)・大学衍義(二〇冊、A↖E三八匁、Fナシ、▼武村)・太平記大字(A↖C二三匁、D三〇匁、EF三八匁、▼吉野や・村上・武村新)・太平記法華法印(四五冊、A↖E一〇〇匁、F一三〇匁、▼野田)・多識編(二冊、道春、A↖F三匁)・多識編増補(五冊、

澁玄桂、A↖E六匁、F八匁)・長恨哥圖抄(五冊、A↖E五匁、F八匁)・棠陰比事加抄(八冊、海虞英納編、A↖C八匁、↓吉田)・東海紀行(二冊、A↖F一匁)・唐鑑音註(二冊、呂東萊、A↖E一七匁、F二三匁)・道統小伝(二冊、道春、A↖E一匁八分、F二匁八分)・童蒙試式(一冊、春洞作、A↖E五分、Fナシ)・杜律集解小本(三冊、A↖E三匁五分、↓秋□□)・杜律題註(五冊、A↖F六匁)・杜律分類(五冊、薛益作、A↖F六匁五分)・冰川詩式(七冊、真定梁橋、A↖E七匁五分、↓八〔尾〕平)・文章軌範(八冊、疊山謝枋得、A↖C八匁、DE九匁、Fナシ、▼武村三郎)・冷斎夜話(二冊、僧惠洪、A↖E二匁五分、F三匁五分)・歷代帝王圖(一冊、諸葛深、A↖F一匁二分)・歷代帝王圖増補(六冊、A↖Cナシ、D↖F六匁五分)・列女伝(一二冊、A↖E九匁、F一五匁)・老子経口義頭書(二冊、林道春、A↖C一匁五分)

医 金匱要略註解(二〇冊、玄医、C↖E一五匁、F一七匁)・啓迪集(八冊、延寿院、A↖E一〇匁、F一七匁)・儒医精要(一冊、宗敬斎、A↖E一匁二分、F一匁八分)・傷寒論(五冊、<sup>(注9)</sup>A↖Fナシ)・傷寒論金匱註解(八冊、

名古や玄医作、Bナシシ)・傷寒論首書(Aナシシ)・傷寒論  
仲景(一二冊、Bナシシ)・小兒療治(三冊、加屋松庵、A  
↓D一匁三分、E二匁八分、F二匁八分)・針灸銅人(四  
冊、紹錦徐三友挾止、A↘E四匁、Fナシシ)・製膏記異名  
記トモ(二冊、A↘E五分、Fナシシ)・素門靈樞(六冊、A  
↘E六匁五分、▼風月、↓風月)・素門靈樞次注(一二冊、  
A↘D一六匁五分、E一九匁五分、↓風月)・達生録(二冊、  
A↘F二匁五分)・仲景全書(一二冊、A↘D一三匁、E  
一八匁、F二二匁)・診家樞要(二冊、滑伯仁、A↘E一  
匁、F二匁)・銅人鍼灸図(四冊、A↘F四匁)・病源候  
論(二〇冊、巢氏、A↘D一二匁、E F一五匁)・保赤全  
書(四冊、吳管機、A↘D四匁五分、E七匁、Fナシシ、▼  
前川)・本草綱目新版大本(三八冊、A↘F二〇匁、▼風  
月)・明堂灸經抄(三冊、A↘F二匁三分)

顯昭、A↘F三〇匁)・尚衣志(一冊、A↘E一匁、↓せ  
にや)・松葉集(一六冊、宗惠、A↘C二〇匁、↓林久)  
・新撰恋和哥(二冊、A↘E一匁五分、Fナシシ)・草木木  
(三冊、A↘C三匁、↓舛や)・七夕本地(二冊、A↘E  
一匁、Fナシシ)・智惠鑑(一〇冊、A↘D一〇匁、E F一  
二匁)・茶器弁玉集(五冊、A↘E一〇匁、F一二匁)・  
茶器名物記(二冊、A↘E四匁五分、F五匁五分)・つれ  
づ草集説(一五冊、鷲水、D↘F二〇匁、▼吉田)・百  
人一首基箭鈔(三冊、A↘F三匁)・百人一首鈔(三冊、  
細川玄旨、A↘C二匁、D↘F二匁八分、▼鈴木)・万葉  
集(二〇冊、橘諸兄公撰・源順点、C D三三匁、E四三匁、  
↑安田十、↓いづみ)・武者物語抄(七冊、松田一榮、A  
↘F七匁)・山城名所記(一二冊、泰順、A↘F九匁)・  
陽復記(二冊、出口信濃、A B四分、C↘Eナシシ、F四匁  
五分)・六家集(一八冊、俊成卿・後京極・慈円僧正・定  
家卿・家隆卿・西行法師、A↘E二七匁、F四〇匁、▼吉  
田・風月)

飯 うらしま(二冊、A↘E八分、Fナシシ)・まんま物語  
(二冊、A↘F一匁五分)・可笑記評判(二〇冊、了意、  
A↘E一五匁、F二五匁)・小あつもり(一冊、A↘Fナ  
シ)・鞍覚集(五冊、A↘C四匁)・鞍覚集大成(八冊、  
D E六匁、↓□□□)・小町双帯(二冊、A↘Fナシシ)・  
さる源氏(二冊、A↘E一匁、F二匁)・袖中抄(二〇冊、

仏 大原談義書拔(六冊、A↘E六匁五分、F八匁五分)  
・過去帳抄(三冊、A↘D一匁八分、E二匁八分、F三匁  
八分)・俱舍論遁麟(一二冊、A↘C一五匁、D↘F一八

夕、▼前川)・群疑論(七冊、懷感禪師、A\C四夕五分、D\F七夕五分、▼秋田や)・元亨釈書(一五冊、虎岡、A\C一五夕、DE一〇夕、F二五夕、▼中野六)・五燈会元(二二冊、博山無異僧、A\F金一兩、▼秋田や)・

西方発心鈔(二冊、源空、A\E八分、Fナシ)・西方発心鈔首書(一冊、A\Fナシ)・沙石集(無住、A\C六夕、DE七夕、Fナシ、▼松坂や)・三部因縁論藏集(一〇冊、法譽願求、A\F一五夕)・七十五法名目(一冊、A\E一夕二分、Fナシ)・七十五法名目見聞(三冊、栄観、A\E三夕、F四夕)・太子伝假名絵入(一〇冊、A\C九夕、DE一六夕、F一八夕、▼井筒九)・百因縁集(九冊、愚勤住信楽述、A\D五夕、E七夕、↓きくや)・仏法神変集(一〇冊、智滴、A\F九夕)・仏本経(六冊、A\F六夕)・曼荼羅白之記(二三冊、袋中、A\C一一夕、DE一二夕、F一七夕)・明恵伝記(三冊、A\D二夕五分、E三夕五分、↓井上)

図 歴代名医(A\F二夕五分)

#### 上村四

上村四郎兵衛。松葉屋。住居は京都柳手三條下ル町(正徳五年刊「花壇發菊集」)。後掲「松ばや」の項にも、四郎兵衛の蔵板書があるか

もしれない。

儒 文徳実録(五冊、昭宣公、DE一〇夕、↑村上勘左、↓いづみや)・和漢故事要言(五冊、鷺水、D\F三夕五分)

医 王叔和脈経(一〇冊、DE一〇夕、F一三夕、↑村上)飯 花鳥ひいながた(三冊、D\F三夕)・千載ひいながた(三冊、D\F三夕)・大和小学開斎(五冊、D五夕、EF七夕、↑村(上)勘左)

#### 上村次郎右(上村次)

上村次郎右衛門。住居は京都二条通玉屋町(寛永二十年刊「御製聖賢像贊」)。

儒 伊洛淵源録(一〇冊、朱子、A\E一三夕、F一七夕)・学範(二冊、了古先生、A\E二夕、Fナシ)・古文後集中字(A\D二夕・上三夕、E二夕・上四夕、F四夕、▼長尾平・丸や源)・七書(A\C三夕・上五夕、DE五夕、Fナシ、▼野田弥)・詩法源流(二冊、A\E一夕五分、F二夕五分、▼武村新)・書経旁通々考(二〇冊、陳師凱作、AB二二夕、C\F二五夕)・本朝文粹(一五冊、藤原明衡、AB一八夕、C二二夕、DE二〇夕、↓いたみや)・老子経口義義解(四冊、釈徳清注、A\D二夕五分、



↓秋〔田〕一）・老子経口義増補首書（二冊、尚堅作、A  
↓D二匁五分、↓秋〔田〕一）

医 医学入門合類（二七冊、八尾淡室、A↓D二五匁、E  
三五匁、F四七匁）・馬経大全（八冊、A↓E七匁、F一  
〇匁）

飯 奥義抄（八冊、清輔、A↓E七匁、↓〔林〕久二）・  
よこぶえ（二冊、A↓E四分）・和哥袖中抄（二〇冊、定  
家、A↓F二五匁）

園 道統伝（A↓F二匁）

### 上村八

上村八郎右衛門。住居は京都（元禄七年刊『御家要言故事』）。

飯 物ぐさ太郎（二冊、A↓F二匁）

### 上村彦

儒 群書字例（一冊、A↓E五分、Fナシ）

### 上村平

上村平左衛門。松葉屋。住居は京都二条通堺町西へ入町（元禄四年  
刊『漢語大和故事』）、二条柳之馬場（宝永四年刊『本朝浜千鳥』）。  
後掲の「松ばや」の項にも平左衛門の蔵板書があるかもしれない。

儒 漢語大和故事（五冊、A↓E三匁五分、F四匁五分）

・通俗五代軍談（二二冊、貞斎、D↓F二八匁）・通俗戦

国策（一八冊、貞斎、DE一五匁、F二〇匁）・年中故事  
要言（七冊、道燕、DE六匁、F七匁）

医 回春序抄（三冊、F三匁五分、↑秋田五郎）・出證配  
劑（二冊、道三、C↓E一匁二分、Fナシ、↑丁子長）・  
靈宝薬性和語能毒（八冊、C↓F三匁五分）

飯 栄花一代男（四冊、C↓F二匁五分）・御前義経記（八  
冊、D↓F六匁五分）・西鶴織留（六冊、A↓C三匁五分、  
D↓F三匁八分）・西鶴文反古（五冊、A↓E二匁五分、  
D三匁五分）・唯謡同下懸（C↓E二匁一分、F二匁五分、  
▼谷口七）・唯謡外下ノ（一冊、DE二匁一分、Fナシ）

・めのとのさうし（二冊、C↓E一匁三分、Fナシ）・用  
文章ひながた入（三冊、C↓F二匁七分）

仏 看命一掌金和解（二冊、信武、D↓F二匁五分）

### 梅村

#### 梅村

ほとんどが梅村弥右衛門の蔵板と思われる。

儒 韻鏡指徴（二冊、D↓F二匁五分）・翰墨草書（二冊、  
A↓F三匁）・孔子聖跡図諺解（二冊、C↓E二匁、F三  
匁、↑井筒九）・五経改正（A↓D一八匁、E二三匁、F  
二五匁、▼舛や）・国華集改正平仄付（二冊、虚白、A↓E  
一匁八分、F二匁八分）・古曆便覧（二冊、吉田光由、A

一〇〇頁、F一〇頁五分）・古曆便覧小本（二冊、A一〇頁八分、Fナシ）・三五韻（二冊、F七頁五分、↑風月市）・山谷詩集  
 素本大本（二冊、A一〇頁ナシ、F五頁）・三重韻寸珍（一冊、A一〇頁二分、D一〇頁七分）・三正俗解（一冊、夏□周、DE二頁、F三頁）・算法七乘算演式（二冊、元珪、F二頁八分）・詩韻輯要（二冊、F六頁）・四書首書新板（A一〇頁一八頁、E二五頁、Fナシ、▼風月市）・周易本義頭書（六冊、本義ハ朱文公・頭書ハ林春齋、Fナシ、↑風月市）・助語辭頭書（二冊、毛利貞齋、A一〇頁三分、F一〇頁五分）・榊月詩集（貫休、AB一〇頁、▼田中、↓田中）・笠蹄集（二冊、中根元桂、D二頁二分、EF二頁七分）・雙蹄集（一冊、Fナシ）・大学新疏（二冊、直消、F五頁）・帝王通記寸珍（二冊、A一〇頁九分、Fナシ）・天原發微（一〇冊、景翔、F二三頁、↑吉村吉）・読書字義（一冊、A一〇頁五分、DE一頁、Fナシ）・白玉繪全集（一五冊、EF二五頁）・服忌令寸珍（一冊、A一〇頁五分、Fナシ）・服忌令増補（一冊、A一〇頁八分、Fナシ）・駱賓王詩集（一冊、A一〇頁、Fナシ）  
 医 古今方彙（二冊、A一〇頁、DEナシ、F九頁）  
 ・古今方彙ウスマウ（注）（A一〇頁五分、D一〇頁三分）・古

今方彙増補（一冊、DE七頁五分、ウスマウ一〇頁、Fナシ）・衆方規矩群類（一冊、A一〇頁二分、F一〇頁八分）  
 ・大成論口義（二〇冊、洛下可敬、A一〇頁二分）・趙氏医貫（一〇冊、汝本甫伯彙甫、C一〇頁五分、F一八頁、↑小紅や）・脉論口決（五冊、湯淺丈伯、A一〇頁七分、EF三頁一分）・藥名備考（八冊、F二二頁、↑小嶋）・律原發揮（一冊、中根元珪、A一〇頁、F三頁）  
 飯 いさめ草（四冊、F四頁）・梶の葉（三冊、E三頁）  
 ・鎌倉九代記（二三冊、A一〇頁五分、F一九頁、▼田中）  
 ・太鼓秘伝書（五冊、觀世与左衛門、D一〇頁五分）  
 ・太鼓秘伝書頭付（二冊、DE一〇頁、Fナシ）  
 ・つれづれ草貫旨（四冊、A一〇頁五分、F六頁五分）  
 ・庭訓往来カナ抄（三冊、A一〇頁七分、DE二頁七分、F三頁一分、▼小川）  
 ・庭訓往来真ノ抄（二冊、A一〇頁二分、DE一〇頁七分、F二頁七分、▼風月）  
 ・筆のまよひ（一冊、光広、A一〇頁八分、Fナシ）  
 ・まさな草（五冊、河瀬菅雄、A一〇頁八頁）  
 ・峯の松風（一冊、A一〇頁二分、Fナシ）  
 ・やしなひ草（二〇冊、村上遊門、A一〇頁、F二二頁）  
 ・立花正道集（四冊、A一〇頁三分七分、EF四頁七分）  
 ・和歌拾題抄（一五冊、A一〇頁五分、F一八頁、▼吉田）

仏 阿弥陀経略解見聞(三冊、A、E三、五、五分、F二、五、五分)・優曇宝鑑(六冊、優曇師普撰、A、E七、八、九、F一〇、八)・孟蘭盆経供養(二冊、元照、A、B二、八)・孟蘭盆経献供養ひらかな(二冊、戒山比丘、A、E二、五、五分、F三、五、五分)・孟蘭盆経法式略解(二冊、玄阿、A、Fナシ)・往生要集指磨抄(二、五冊、A、E五、五、八、F六、五、八)・迦才浄土論(三冊、A、D三、八、E四、八、F五、八)・元亨釈書文弁(一冊、曾澄伯清、D、E二、二、二分、F三、二、二分)・皇朝護法録(二冊、A、F一、五、八)・護法録(二冊、F二、三、八、↑大和や伊)・勝鬘経疏義私抄(六冊、明空、A、Fナシ)・諸文要解(六冊、巖的、D、F五、八、三分)・新修往生伝(二冊、恵心、C、E一、八、五分、F一、八、八分)・小川)・西山上人伝(一冊、後青竜院一品親王尊道、C、E一、八、三分、F一、八、八分)・父母恩難報経(一冊、長谷音春坊、A、Fナシ)・梵網戒経註経(三冊、唐恵因<sup>(注12)</sup>、Fナシ)・律苑僧宝伝(二冊、戒山比丘、A、E二、八、F一、八、八)・六物依釈(二冊、D、F三、八、八分)

図 大明図(一冊、D、F五、八)

石 千字文治部斎(二冊、C、Fナシ)・千字文文徴明(A、F一、八、三分)

梅村一

梅村市良兵衛。住居は京都寺町五条橋詰(元禄十五年刊『四季年行事』)。

儒 朗詠集傍訓(四冊、D、E五、八、五分、F五、八)

梅村三

梅村三郎兵衛。住居は京都寺町通松原下ル町(元禄十一年版『和歌分類』)。

仏 金剛宝戒章(三冊、源空、F二、八、六分)

梅村清兵へ(清兵へ)

飯 琴のくみ(一冊、A、F一、八)・琴のくみ松月抄(二冊、A、E一、八、五分、F二、八、一分)

梅村弥右(梅村弥)

梅村弥右衛門。弥白、玉池斎、甘節堂などと号す。住居は京都京極通松原上町(貞享元年刊『本朝年代紀』、五條橋陌(元禄五年刊『律原發揮』)、寺町五條上ル町(宝永五年刊『増補華夷通商考』)などと記す。「元禄大平記」巻五に弥白が黄楊板「三重韻」を作り、売れたことが述べられている。

儒 異体字弁(二冊、元珪<sup>(注13)</sup>、A二、八、五分、B、Eナシ、F三、八、五分)・伊呂波韻増字(三冊、A、C二、八、▼丸や源)・五経カナ付(A、E二、五、八、F三、五、八、▼井上忠)・国朝諫諍録(四冊、藤井蘭斎、A、E五、八、F六、八)・三高

僧詩集(一二冊、A↖E二七匁、F三〇匁、▼田中庄)・

詩法正義(一冊、石川丈山、A↖E七分、Fナシ)・宋学

士全書(三〇冊、C↖E銀二枚、F一〇〇匁)・長曆便覧(一

冊、A↖E五分、F八分)・童訓学要抄(C↖E一匁五分、

F二匁五分、▼永原や)・平家物語評判(二四冊<sup>(注14)</sup>)・石橋源

右衛門、A↖E三五匁、F五〇匁)・片玉本草(一冊、A

↖E一匁八分、F二匁二分)・北条九代記(一二冊、了意、

A↖E二匁、F一五匁)・本朝年代記(二〇冊、A↖D

八匁、E一〇匁、F一二匁)・蒙求詳説(二〇冊、宇都宮

由的、A↖E一五匁、F一八匁、▼風月市)・略韻袖珍(二

冊、A↖E三匁七分、F四匁七分)・朗詠集絵入カナ付(二

冊、A↖D二匁二分、E二匁五分、F三匁五分)

医 医学弁書(二三冊、紀州宇治田芸安、A↖F二五匁、

▼外や)・日用食性指南(三冊、A↖F二匁七分、田中庄)

・病名彙解(八冊、芦川正立、A↖D七匁五分、E八匁五

分、F九匁五分、▼伏見や藤)・和济局方半切(五冊、C

四匁五分、DE五匁五分、F七匁五分、▼立花や庄、↑小

紅や)

飯 茶湯雪月集(一冊、遠藤元閑、C↖Fナシ)・琴曲抄

(二冊、A↖F二匁五分、▼尾崎七)・琴爪印(二冊、C

↖F一匁五分)

仏 小施餓鬼集(二冊、A↖Fナシ)

石 千字文画引(A↖E一匁五分、F二匁五分)

むめや

飯 ことぶき草(六冊、F七匁、↑川藤次)

ゑどうしや

檢双紙屋喜左衛門。住居は京都東洞院三本木三町目(寛文四年刊、秋  
月物語)。仮名の読み物が多く、仏書がほとんどないことが特徴で  
ある。蔵板書二十七点。

儒 東鑑仮名(A↖E銀二枚、F一〇〇匁、▼田中庄・野

田)・軍理問答(八冊、江嶋氏、A↖C八匁五分、DE一

〇匁五分、F一三匁)・江源武鑑(三〇冊、A↖E三八匁、

F五〇匁)・諸家評定(二二冊、作雲、A↖D三五匁、E

四〇匁、F四八匁)・天地麗気記(四冊、A↖F七匁)・

保元平治大全(一六冊、西道智、A↖D二三匁、E二八匁、

F三八匁)・明衡往来(二冊、A↖C一匁六分、D↖F二

匁二分)・明衡往来仮名(三冊、A↖C二匁一分、D↖F

三匁五分)

医 嬰童百問(一〇冊、無柏詞、A↖D一一匁、E一三匁、  
↓□□□)・見宜配剂(二冊、A↖D一匁二分、EF一匁

八分)・丹溪心法附録(二五冊、AゝF六〇匁)

飯 秋月物語(三冊、AゝC二匁、DゝF三匁)・伊勢物語  
語杆海(一〇冊、松雲、AゝE一一匁、F一五匁)・哥ひ  
いながた(二冊、AゝF二匁三分)・哥枕名寄(三九冊、  
澄月作、AゝE五〇匁、F六〇匁、▼中村宇)・江戸名所  
記(七冊、松雲作、AゝF五匁)・源氏物語覽宴集(二冊、  
貞徳、AゝFナシ)・源氏物語大略(二冊、AゝF一五  
匁)・古老物語(六冊、AゝF六匁)・三綱行実(九冊、  
浅井松雲、AゝFナシ)・自贊歌絵入(二冊、AゝC二匁  
二分、DゝF三匁二分)・十帖源氏(一〇冊、立圃、Aゝ  
E一五匁、F一八匁)・つれぐなぐさみ草(八冊、長頭  
磨、AゝE一〇匁、F一五匁)・仏鬼論(二冊、AゝFナ  
シ)・法花利益(二冊、了意、AゝE二匁、F一五匁)  
・万葉集鈔(二〇冊、仙覚律師、AゝF二八匁)・楊貴妃  
物語(三冊、AゝE一匁八分、F二匁八分)

系さうし長

仏 八境界註(二冊、AゝF二匁五分)

越中や善左衛門

飯 袖珍哥枕名寄(八冊、AゝE八匁六分、↓いづみ)

江戸(江戸板)

江戸の書肆が蔵版しているもの。

儒 一極算(一冊、AゝFナシ)・菊花詩絶(二冊、Aゝ  
E一匁八分、Fナシ)・経書字弁(二冊、DゝF五匁)・  
楠千早問答(三冊、AゝFナシ)・楠知命抄(五冊、Aゝ  
Fナシ)・熊野紀行(一冊、AゝE九分、Fナシ)・軍鑑  
結要本(一四冊、AゝF二五匁)・三社陀宣俗談(一冊、  
桂正勝、D八分、EF一匁)・三方回秘見集算書(三冊、  
AゝFナシ)・算法綴聚抄(九冊、AゝE五匁、Fナシ)  
・算法勿憚改(五冊、中沢又助、AゝFナシ)・算法直解  
(三冊、AゝFナシ)・芝山会稿(一一冊、CゝF一二匁)  
・七書説約大全(一三冊、AゝF一八匁)・朱子家訓鈔絵  
入(三冊、AゝF三匁)・図絵宗彝(六冊、DE三匁、F  
ナシ)・節用集小本(一冊、AゝC一匁三分)・草書淵海  
(五冊、宮川瑞雲、AゝFナシ)・大学金藏鈔(七冊、A  
ゝF九匁)・年中風俗考(二冊、AゝFナシ)・富士六百  
詠(六冊、AゝF一八匁)・朗詠集首書(四冊、AゝE四  
匁、F六匁)・盧倫詩集(二冊、AゝF一匁八分)

医 医方聚要(一二冊、AB三〇匁、↓舛や)・運氣論全  
解(一四冊、CゝE二〇匁、F三〇匁)・回春弁葉(一冊、  
AゝF一匁五分)・師語録増補(六冊、AゝC四匁、Dゝ

F五匁)・小児要方(二冊、A二匁、↓山形吉)・諸證弁  
 疑録類部(五冊、A↗E四匁、Fナシ)・薛氏医案(七冊、  
 A↗D五匁、E F六匁)・中條流産書(二冊、A↗E一匁  
 五分、Fナシ)・秘伝雜方(二冊、A↗E一匁、Fナシ)  
 ・本草澁(二〇冊、A↗F二七匁)  
 飯 亞槐集飛鳥井殿家集(二〇冊、A↗Fナシ)・一時隨筆  
 (四冊、ABナシ、↓ふかいや)・江戸かのこ(六冊、A  
 ↗F三匁五分)・江戸すゝめ(二〇冊、A↗F九匁)・江  
 戸惣かのこ大全(八冊、A↗F五匁)・円方四巻記(四冊、  
 初坂氏、A↗F四匁)・恋舟橋(三冊、ABナシ、↓万や  
 庄)・古今著聞集(二〇冊、橋南宸作、A↗C三五匁、D  
 E五〇匁、↓永田)・小さかつき(五冊、A↗Fナシ)・  
 射法一統(六冊、A↗F六匁)・正平もやう集(二冊、A  
 ↗Fナシ)・新古今抄中本(八冊、A↗F七匁)・泰平武  
 林長鑑(三冊、A↗E三匁)・泰平楽(四冊、A↗E二匁  
 三分)・南花ばなし(五冊、A↗Fナシ)・日待ばなし(三  
 冊、A↗Fナシ)・卜養狂哥(二冊、A↗F一匁五分)・  
 細川三斎家集(五冊、A↗F四匁五分)・武者百人一首(一  
 冊、AB一匁五分)・湯谷物語(二冊、A↗Fナシ)  
 仏 一枚起請科註(三冊、A↗F二匁七分)・円顯者折衷<sup>マツ</sup>

(一冊、主海、A↗F二匁)・大原談義助見集(三冊、A  
 ↗F三匁五分)・観音籤抄(二冊、A↗Fナシ)・鎮西宗  
 要本末口伝抄(一冊、A↗E五分、Fナシ)・伝通記宝陀  
 抄(二冊、A↗Fナシ)・弁々感指南箋(二冊、D↗F三  
 匁)・楞嚴經再破(三冊、A↗Fナシ)・楞嚴經評判(二  
 冊、A↗Fナシ)

図 孔子聖堂図(A↗F二匁五分)

石 橋之記(二冊、佐々木志津磨、A↗F七匁五分)・扶  
 桑法帖(二冊、A↗Eナシ、↓林久)

好 好色江戸むらさき(五冊、A↗E二匁五分、Fナシ)  
 ・好色はつ時雨(二冊、A↗Cナシ、↓西村一)・難波伽  
 羅男(五冊、A↗E二匁五分、Fナシ)

江戸須原や↓須原や

江戸清

江戸の書肆であるが、屋号不明。

医 身心養性記(二冊、山本玄道、A↗E一匁二分、Fナ  
 シ)

江戸山

江戸の書肆であるが、屋号不明。

医 針灸樞要(一〇冊、A↗F一二匁)

櫻並菀(複並・系なみ)

京の杏肆複並菀九郎(元禄五年刊「大広益新撰八卦抄謄解」)もいるが、こゝは恐らく櫻並菀兵衛。此君堂(書目集覽)。住居は京都寺町通(元禄十五年刊「遊里様太鼓」)。

儒 三重韻三ツ切(一冊、A↗E一匁二分、Fナシ)・三將軍解(八冊、松田氏、C↗F七匁、↑小紅や)・文選抜粹(二冊、A↗F三匁)

仮 伊勢物語中本(二冊、C↗F二匁)・謡指南(二冊、A↗E一匁二分、Fナシ)・上り竹斎(二冊、DE一匁二分、Fナシ、↑水田)・舞楽藥葉大全(八冊、C↗E八匁、F一〇匁)

仏 興御書直解(六冊、惠雲、A↗E四匁五分、F五匁五分)・無縁引導集(六冊、A↗E五匁五分、F六匁五分)

夷譜中

夷物にあたる、大和田九左衛門の刊記を持つものが多い。

儒 鶴林玉露(九冊、<sup>(注16)</sup>摩陵羅大経景綱、A↗C一二匁、DE一七匁、F一九匁)・鴈魚錦箋(八冊、雨花斎蔵、A↗E八匁、F一〇匁)・源平盛衰記(二五冊、葉室大納言、A↗E四三匁、F六三匁)・小字彙寸珍(一冊、A↗C一匁三分、DE二匁一分、Fナシ)・小字彙統(一冊、A↗

C一匁五分、DE二匁一分、Fナシ)・尺牘双魚(九冊、A↗C六匁、D八匁、E九匁、F一二匁)・続蒙求(八冊、眉巖居士、A↗E八匁、F一二匁)・文公家礼(八冊、朱熹、A↗C一一匁、D一二匁、E一三匁、F一八匁)・平家物語(二冊、A↗C二匁、D一三匁、E一五匁、F二二匁)・蘆蕙頭書(六冊、大和田氣求、A↗E五匁五分、F七匁五分)・列子口義(四冊、林希逸注、A↗C五匁、DE七匁、F一〇匁)・和玉篇袖珍(一冊、A九分、B不詳、C↗Fナシ)・和字彙(九冊、氣求、A↗C七匁、DE八匁、F一一匁)・和字彙増補(九冊、A↗Fナシ)

医 回春大字(八冊、AB一二匁、C↗E一五匁、F二五匁)

仮 つれづれ草古今抄(二冊、氣求撰、A↗E一〇匁、Fナシ)・大和家礼(八冊、大和田氣求、A↗E一〇匁、F一三匁)

仏 孟蘭盆経科首書(四冊、阿春、A↗C五匁、DE五匁五分、F七匁五分)・孟蘭盆経科首書五卷ノ(A↗E四匁、Fナシ)・孟蘭盆経標指鈔(七冊、A↗E五匁五分、F八匁五分)・円覚経略疏抄(二三冊、宗密、A↗C一五匁、D↗F一八匁)・王沢并鈔(四冊、良季、A↗F三匁五分)

・三宝感應録(三冊、非独、A\C八分、D E三匁五分、

F四匁五分)・十三仏抄(一冊、A\D九分、E F一匁五

分)・柳林類聚点付(二〇冊、A\D四〇匁、E五〇匁、

F六〇匁)・大集經(三〇冊、A\E六〇匁、F一〇〇匁)

・瑜伽論(一〇〇冊、弥勒菩薩、A\E銀二枚、F銀三枚)

・唯識論述記(二〇冊、基遣、A\E五五匁、F六五匁)

・和讃記(六冊、A\D六匁、E七匁、F一〇匁)

系び弥(系びや)

海老屋券三郎。恒心堂。住居は京都車屋通二条下(貞享四年板、大原談義句解)。

医 濟陰綱目(二〇冊、武叔卿、D\F三二匁)

仏 大原談義句解(一〇冊、了意、D一一匁、↑丁子半、

↓八〔尾〕平)・大経鼓吹(三〇冊、了意、D E四五匁、

F五五匁)

繪馬や

儒 節用集綱目(六冊、A\F四匁)

扇や庄

仏 理趣経純秘講義(四冊、宜春、A\E一〇匁、F一二

匁)・理趣経純秘抄(三冊、亮汰、A\E四匁、F六匁)

・理趣経鈔(三冊、A\E五匁、F六匁)

近江や

飯 狂遊集(二冊、D\F一匁七分)・七宝小うたひ(一

冊、D E七分、Fナシ)<sup>(注17)</sup>

近江や善

近江屋辨兵衛。住居は京都押小路通橋町(元禄十三年刊、釈氏往来)。

儒 大学明德記(一冊、A\F七分)・弁財天籤占(一冊、

A\F五分)

飯 かたみ草(四冊、C\F四匁、▼山本八)・ころもの

玉(一冊、A\E八分、Fナシ)・用文章大橋様(二冊、

A\E一匁、Fナシ)

仏 歎徳集(二冊、C\Fナシ)

石 麒麟抄<sup>(注18)</sup>(六冊、A\E五匁、F六匁)

大井七郎(大七郎兵衛・大井七・大井)

大井七郎兵衛。日新堂(書買集覧)。踞躰堂(元禄五年刊、曾我記)。

『益軒雜記』に出てくる「本屋七郎兵衛 六角通新町西へ入町南が

は」が大井七郎兵衛のことであろう。且原益軒の著作をよく刊行し

ているし、益軒の「居家日記」元禄十五年の条に「大井七郎兵衛の

申来書、和板書籍考五冊元禄十五年三月板行之由、神道名目類聚抄

七冊元禄十四年之比京都にて板行、近年神書の内好書之由、濟陰綱

目京都にて元禄十五年板行、類題集三十冊和泉板行、兩國歌通壹冊

唐人の言葉二和訓付たる也、戸次軍談十二冊立花氏軍記之由」と記



されて、大井より新刊書の情報を入手している。

- 儒 三重韻増益 (二冊、A 1 C 二匁、D E 二匁八分、F 三匁八分、▼中村)・算法天元録 (四冊、西脇利忠、C 1 E 四匁五分、F 五匁五分)・初学詩法 (一冊、貝原篤信、A 1 E 一匁八分、F 二匁三分)・初学知要 (三冊、貝原篤信、C 1 F ナシ、↑吉野や)・世事通考 (二冊、A 1 F 三匁)・千字文類合 (一冊、貝原篤信、A 1 E 一匁五分、F 一匁九分)・八卦和談鑑 (二冊、A 1 F 一匁)・和字雅 (九冊、A 1 C 一匁、D E 一〇匁、F 二匁、▼長尾平)
- 医 経絡捷経 (二冊、A 1 E 二匁三分、F 三匁三分)・十四経俗解 (一冊、A B 二匁)・十四経指南 (一冊、C 1 F 二匁)
- 飯 古今狂歌集異曲集とも云 (四冊、行風作、A 1 F 五匁)・三五記 (二冊、定家、A 1 F 二匁五分)・曾我記 (五冊、A 1 E 四匁、F 五匁)・庭訓往来大字 (二冊、A 1 C 二匁)・日本歳時記 (七冊、貝原篤信、B 1 F ナシ)・花よのひめ (三冊、C 1 F 三匁)・和漢事始 (一三冊、貝原氏、C 1 E 一六匁、大本二〇匁、F 一八匁、▼長尾平)
- 仏 三部図経改記 (一冊、秀玄、A 1 F 一匁二分)・叢林公論 (一冊、A 1 F 二匁五分)・叢林公論略消規 (三冊、

妙心寺道忠、A 1 F 六匁)

- 図 大坂之図 (A 1 C 一匁、D 1 F ナシ、▼図や)・大坂之図小之 (A 1 F ナシ、▼図や)・高野之図 (A 1 F 一匁五分、▼図や)

### 大坂

大坂の香肆の蔵板書。秋田屋市兵衛や池田屋や毛利田などはその名が載せられているが、多くは大坂とのみ記したようである。

- 儒 圍碁秘決 (一冊、玄才作、A 1 F ナシ)・伊呂波詩聯大成 (二冊、D E 八匁、F 一〇匁)・織田軍記 (二三冊、D E 二七匁、F 三七匁)・勸懲故事 (八冊、無々居士、A 1 F ナシ)・軍法武士鑑 (二冊、A 1 F ナシ)・後太平記評判 (三〇冊、A 1 E 三三匁、F 三八匁)・才子伝 (五冊、文房、F 七匁五分、↑上村)・三世相小鑑大全 (六冊、A 1 F 三匁五分)・算法入門 (二冊、A 1 F ナシ)・四番鈔説 (一〇冊、楊斎、F 二六匁)・授時曆諺解 (六冊、F 八匁)・神代卷直指詳解 (八冊、C 1 F 一匁)・節用集大万 (一冊、F 三匁八分)・大極図説諺解 (二冊、洞雲、A 1 F ナシ)・太平記首書 (二五冊、了意、A 1 E 三八匁、F 四八匁)・通俗異越軍談 (二〇冊、D E 二六匁、F 三三匁)・通俗武王軍談 (二三冊、D E 三〇匁、F 三五匁)・

築紫軍記(一六冊、D\F二〇匁)・唐故事(三冊、A\F二匁八分)・東方朔置文(三冊、A\C一匁五分、DE一匁、F不詳<sup>(注22)</sup>)・土佐軍記(一二冊、F一六匁)・中臣千別鈔(二冊、D\Fナシ)・人相小鑑(四冊、A\Fナシ)・武用詞解(三冊、D\F三匁)・文体明弁抜粹(四冊、A\E四匁五分、F五匁五分)・義経興廢記(一二冊、D\F一五匁)・礼記月令諺解(二冊、A\Fナシ)・和漢年代記一統志(二冊、A\E二匁、F三匁)・和漢年代考記(二冊、A\E二匁、F三匁)

医 医学初心抄(四冊、A\E一匁五分、F二匁五分)・外科衆方規矩(六冊、A\F五匁)・纂言方考首書(六冊、A\E八匁、F九匁)・産前後切紙(一冊、鈎玄、D\F一匁二分)・衆方規矩家伝(八冊、A\E五匁、F六匁)・衆方規矩平カナ(D\F一匁三分)・食物備考大成和解(三冊、D\F二匁五分)・針灸合類(二冊、維洋敵人、AB二匁五分、↓林九)・万民妙薬集(一冊、D\F一匁)

飯 格致算書(五冊、柴村藤左衛門、A\F五匁)・かげろふ日記(一〇冊、C\F九匁)・哥林良材統(二冊、A\F二匁八分)・古今集延五記(二冊、堯惠法印、F二五匁、↑中村)・国花万葉記(二冊、C二七匁、DE二

一匁、F二五匁)・西鶴俗つれづれ(五冊、A\F二匁八分)・西園道しるべ(二冊、A\F二匁三分)・地方調法記(二冊、Cナシ、D\F一匁二分)・浄土座敷法談(二冊、源立上人、A\E一匁二分、Fナシ)・諸国順礼記(二冊、A\F一匁三分)・鹿劫記首書<sup>(注23)</sup>(二冊、AB一匁五分、Cナシ、D二分、EF一匁)・鹿劫記大成(二冊、C一匁八分、D\F二匁)・鹿劫記万宝(一冊、D\F一匁七分)・世話用文章(三冊、F二匁八分、↑丸や彦)・撰集抄絵入(九冊、A\E七匁、Fナシ)・宗祇筑紫紀行(二冊、C\Fナシ、↑かわちや利<sup>(注24)</sup>)・大道訓(五冊、Fナシ)・忠臣往来(一冊、D\F一匁五分)・長明ね覚物語(五冊、A\Fナシ)・千代百人一首群玉(F二匁七分)・徒然草系入(A\E二匁五分、Fナシ)・庭訓七宝往来(一冊、D二匁三分、EF二匁五分)・庭訓童子往来(二冊、D二匁三分、EF二匁五分)・手習仕椽集<sup>(注25)</sup>(三冊、A\D三匁、Eナシ、F三匁五分)・難波鶴並跡追(二冊、A\F三匁)・難波船路記(二冊、A\Fナシ)・難波丸(五冊、C\F六匁)・難波名所記(六冊、A\Fナシ)・難字往来(二冊、A\F一匁五分)・日本將軍伝(三冊、A\F二匁)・はなひ草大全番匠童入(二冊、C\F一匁)・ひいな<sup>(注26)</sup>の哥仙(一

冊、A 1 E 七分、F ナシ)・一目玉鐙(四冊、A 1 E 三分、F 五分五分)・百人一首絵抄大成(二冊、C 1 F 二分三分)・瓢金今川(一冊、A 1 F ナシ)・武家往来(三冊、A 1 F ナシ)・武家義理物語(六冊、A 1 F 四分五分)・放生新話(二冊、A 1 F ナシ)・万葉かな遣(二冊、鶯水、F 三分三分、↑井筒庄・風月一)・明恵皮袋(四冊、A 1 F 三分)・妙薬重宝記(二冊、A 1 F ナシ)・昔の京墨波大鑑(三冊、西鶴、A 1 F ナシ)・無名抄続(二冊、一時軒、A 1 F 三分三分)・用文章頭書(二冊、A 1 E 一分一分、F ナシ)・よぶこ鳥(二冊、F 二分五分)・和歌秀逸物語(二冊、藤原清輔、A 1 F ナシ)

仏 十夜御忌法私考(二冊、A 1 F 二分)・八斎戒要集(一冊、C 1 F 一分、↑丁子六兵)(注26)・弁々惑指南群疑評釈(二冊、普寧、D 1 F 二分五分)・弁々惑通術(二冊、D 1 F 三分)・法華正顯集(三冊、A 1 F 二分三分)・六離合釈頭書(一冊、A 1 F 七分)

石 執筆法謎解(三冊、A 1 F ナシ)

好 好色盛衰記(五冊、A 1 E 四分、F ナシ)・好色万金丹(注27)(五冊、A 1 E 二分三分、F ナシ)・好色よだれかけ(A 1 F ナシ)・諸分重宝記(二冊、A 1 E 一分、F ナシ)

大坂秋田や市↓秋田や市

大坂九郎兵へ

大坂の書肆であるが、何人なるか未詳。

儒 古文後集字引(一冊、A 1 F 九分)

大坂権

儒 困知記(五冊、羅整庵、D E 六分、F 七分、↑上村)

大坂庄

大坂の書肆毛利田庄太郎のことか。

飯 百候往来(一冊、A 1 F 一分五分)

大坂白人

大坂の白人の蔵板書。なお「白人」の項もあり。

仏 唯識論同学抄(六〇冊、A 1 D 五〇分、E F 六〇分)

大坂清

清兵衛。屋号未詳。住居は大坂心齋橋筋願慶町(元禄七年刊「方丈記謎解」)。

飯 長明方丈記謎解(三冊、A 1 F 二分)

大坂八郎

次項大坂八郎兵へと同じかと思われる。

医 衆方規矩病門付(一冊、A 1 D 一分三分、E F 一分八分)

飯 二十四孝謄解<sup>(注26)</sup> (一冊、信州惠陶、A B ナシ、C 一 E 一  
 夕、F ナシ)

大坂八郎兵へ

荻野八郎兵衛。住居は大坂(貞享二年刊「鴨長明寝覚物語」)。

儒 三体詩字引 (一冊、A 一 夕七分、B 不明、C 一 F ナシ)

・長恨哥新抄系入 (二冊、A 一 E 一 夕八分、F 二 夕八分)

仏 至愚安入抄 (四冊、A 一 F 三 夕八分)

好 好色ますか、み (四冊、A 一 E 二 夕、F ナシ)

大坂又兵へ

飯 立花訓蒙図彙 (六冊、A 一 F 七 夕)

大坂弥

藤屋弥兵衛。姓は淺野。星文堂。住居は大坂高麗橋堂下目(元禄二  
 年刊「百詠詩歌」)。

飯 日本武士鑑 (五冊、B 一 F ナシ)

大坂や加

儒 本朝叢求 (六冊、A 一 E 六 夕、F ナシ)

大塚や

儒 谷口山詩集 (六冊、E 六 夕五分)

大津や一

飯 吉利支丹伝破却論 (二冊、A 一 F 一 夕五分)

大野木・大野木市↓秋田や市

大仁や

儒 周易童子問 (一冊、歐陽、F 二 夕)

大船や長 (大船や・大舟や)

大船屋長兵衛。姓は志水。住居は京都(元禄二年刊「聴雨紀談」)。

儒 大学集註絵入 (二冊、A 一 E 一 夕、F ナシ)

飯 三心話 (一冊、A 一 F 一 夕一分)・たち物秘伝 (一冊、

A 一 E 一 夕二分、F 二 夕五分)・徒然草寸珍 (二冊、A 一

E 一 夕八分、F ナシ)・仏法奇妙集 (五冊、A 一 F 三 夕五

分)

大森や四

飯 装束拾要抄 (二冊、C 一 E 二 夕、F 三 夕)

大和田

大和田九左衛門。住居は京都寺町通和泉式部前(寛文四年刊「願蓋  
 鑑」)↓夷幕中

儒 伊呂波集韻 (五冊、A B 六 夕)

医 馬経朝鮮 (四冊、南陽房士良、A 一 E 五 夕、F 七 夕)

小川

ほとんどが後掲の小川太左衛門の蔵板書と思われる。↓小川太

儒 韻府古篆彙選 (五冊、C 一 E 一 六 夕・唐紙三〇 夕、F

一八匁・唐紙三五匁)・袁仲郎詩集(三〇冊、A、Eナシ、F六〇匁)・買島詩集(二冊、Fナシ)・菊池軍記(一一冊、井沢氏、F一五匁)・楠家伝七卷書(七冊、F六匁、↑風月五郎)・孝経大義(A、C一匁、DE一匁三分、Fナシ、▼秋田五郎)・洪武三重韻(九冊、水戸公、DE一二匁、F一四匁)・算学啓蒙諺解(七冊、A、E八匁、F一〇匁)・算学啓蒙注解(六冊、星野五左衛門、A、E七匁、F一〇匁)・三忠伝(四冊、A、E四匁、F五匁)・舜水談綺(四冊、水戸、F一五匁)・舜水文集(三〇冊、水戸、F一〇〇匁)・史論奇鈔(七冊、甘自、F一九匁)・慎思録(八冊、篤信、F二〇匁)・焯露貫珠(二二冊、水戸公、D、F二兩二分)・俗語録(二冊、三竹、Fナシ)・武田兵術(三冊、資成、F七匁五分)・点例(二冊、篤信、D、F一匁)・楽訓(三冊、篤信、F四匁)・曆鑑輯要(一冊、道温、D、Fナシ)

医 医学鉤玄(三冊、牛山、F八匁)

飯 浅井三代記(一五冊、A、C一二匁、DE一一匁、F一五匁)・隠元和尚伝(二冊、道温、F三匁五分)・円光大師伝(二四冊、DE六〇匁、F七〇匁)・円光大師翼賛(二二冊、義山、D三五匁、E三八匁、F四八匁)・家道

訓(六冊、篤信、F七匁)・奇事雑談(六冊、DE四匁、F六匁五分)・京都めぐり(二冊、篤信、D、F二匁)・菜譜(篤信、Fナシ)・三礼口決(五冊、篤信、D、F三匁)・十番詩合(一冊、A、E八匁、Fナシ)・消少納言春曙抄(二冊、北村季吟、A、C九匁、D一〇匁、E一三匁、F二〇匁、▼山本八)・俗説弁(七冊、井沢氏、F八匁)・俗説弁新(五冊、F五匁)・俗説弁続(三冊、F三匁)・庭訓往来カナ抄(三冊、A、C一匁七分、DE一二匁七分、F三匁一分、▼梅村)・農業全書(一一冊、貝原氏、C一八匁、DE二三匁、F一八匁)・万宝鄙事記(八冊、篤信、D、F四匁五分)・大和怪異記(七冊、F五匁)・大和俗訓(五冊、篤信、F七匁)

仏 勸発菩提心文(一冊、B、Fナシ、▼文台や)・勸発菩提心文註解(二冊、B、Fナシ、▼文台や)・浄土要文(一冊、向阿、F一匁八分)・新修往生伝(一冊、恵心、C、E一匁五分、F一匁八分、▼梅村)・禅宗決疑抄(二冊、A、F二匁七分)・禅門宝訓首書(四冊、A、E五匁、F六匁、▼小嶋)・日本往生伝拾遺(二冊、為康、D、F二匁)・日本靈異記(三冊、景戒、F四匁五分)・曼陀羅図説(一冊、獨湛、DE一匁八分、F二匁八分)・楞嚴児

花園(二冊、Fナシ)

國 芳野山園(一冊、篤信、F二三匁)

### 小川伊

小川伊兵衛。住居は京都東洞院井筒町(延宝五年刊、古今以呂波韻略)。

儒 有馬温湯記(一冊、道春、A〜F一匁)・有馬名所記

(五冊、A〜F四匁)・伊呂波韻古今(二冊、笠原義安、

A〜F三匁)・温泉遊草(一冊、元政、A〜F一匁)・孝

経増補(三冊、虚白、A〜D二匁三分、E二匁五分、↓吉

田三)

飯 近來風体(一冊、二条良基公、A〜E一匁、Fナシ)

・新札往来(二冊、A〜E一匁三分、Fナシ)・夜鶴(一

冊、阿仏、A〜E八分、Fナシ)

仏 唯摩経事略(六冊、B〜Fナシ)

### 小川太左(小川太)

小川太(多)左衛門。本姓は茨木(後に城につくる)。柳枝軒。初代

は方淑、二代は方道。住居は京都六角通御幸町西へ入町南側(益軒

雑記)。水戸徳川藩との繋がりや密接で、例えば望月三英「三英随

筆」には「水戸板行は京都小川柳枝軒とて、御書物には皆々彰考館

と云を押されたり」と述べられている。彰考館本を板に刻した「韻

府古笈齋選」には三英の言う如く、瓢箪型の彰考館の蔵書印が朱で

摺り込まれおり、更に巻末に「彰考館訂本刊行目録」の附されてい

るものがある。「新編鎌倉志」より「辨水先生文集」まで十六部の名

を載せている。貝原益軒の著書も多く蔵板していて、享保六年の益

軒貝原先生福述巻目 書林柳枝軒蔵版」も柳枝軒出版の書に附され

ている。これには三十四点の書名が挙げられており、うち未刻のも

のを五点含む。この書録については井上和雄「書買集覧」、同「柳枝

軒主人追く」増補書物三見」が詳しい。↓小川

儒 異制庭訓(三冊、虎関作、A〜E四匁、F五匁)・鎌

倉志(一二冊、A〜E二〇匁、F二六匁)・閑居篇(一一

冊、知円、A〜E一五匁、F一八匁)・翰墨全書叢訓(四

冊、A〜E三匁五分、F四匁五分)・奇異雜談(A〜Cナ

シ)・錦繡段(天隠、A〜C一匁、DE一匁五分、Fナシ、

▼山本長・井筒九)・参考太平記(六四冊、A〜E二〇

匁、F一五〇匁)・賤箇嶽合戦(四冊、C〜F四匁)・性

理紀聞(六冊、乙洞居士赤城業函輯、A〜E六匁、Fナシ)

・新撰書翰(四冊、A〜F四匁三分)・尺牘奇賞(七冊、

A〜E九匁、F一〇匁)・多田澗仲五代記(二〇冊、A〜

E一〇匁、F一五匁)・陳后山詩集(一二冊、A〜E一六

匁、F一八匁)・東見記(二冊、A〜E三匁、F四匁)・

難太平記(二冊、今川了俊、A〜E三匁、F四匁)・梅花

百詠(一冊、A〜E一匁、F一匁三分)・梅花百詠新選(二

冊、高泉和尚、A〜F一匁三分)・保元平治参考(一五冊、

A 〱 E 二七匁、F 三七匁）・本朝高僧詩選（二冊、高泉和尚、A 〱 F 三匁五分）・兩韻備考（一冊、A 〱 F 二匁）・林塘集（二冊、A 〱 E 三匁、F 四匁）・林和靖詩集（二冊、A 〱 F 三匁）・淮海聖音（二冊、A 〱 F 三匁五分）  
 医 医宗必読（一八冊、李士材、A 〱 E 二五匁、F 三五匁）  
 ・眼科全書（五冊、A 〱 E 六匁、F 七匁）・救民妙藥集（二冊、水戸、C 一匁二分、DE 一匁、F ナシ）・古今医鑑（一六冊、饗廷賢、A 〱 D 二五匁、E F 三五匁）・鍼法奇貨（五冊、A 〱 E 六匁、F 七匁）・木艸弁疑（五冊、A 〱 E 三匁七分、F 四匁七分）  
 飯 赤染衛門家集（四冊、A 〱 E 四匁三分、F 五匁三分）  
 ・謡観世かな当流（A 〱 D 小本一六匁五分・大形二五匁、E 小本一六匁五分・大形二八匁、F 小本二六匁・大形三八匁、▼山本長・（寺田）与平次）・謡観世かな当流小本百廿番（A 〱 E 一七匁、F 二〇匁、▼<sup>注30</sup>丁子半）・謡観世拾遺大成（A 〱 D 二一匁、E 二三匁、F 三三匁、▼松坂や・丁子半）・花押蔽（七冊、A 〱 E 一六匁、F 一八匁）・花押蔽統（七冊、F ナシ）・空花和哥集（三冊、C 〱 F 三匁）・筑前名奇（二冊、貝原氏、A 〱 E 二匁五分、F 三匁五分）  
 ・牧民妙藥集（二冊、水戸、A ナシ）・大和めぐり（二冊、

貝原氏、A 〱 E 一匁五分、F 二匁）・六々私抄（三冊、A 〱 F 三匁）

仏 永平録首書（三冊、虚白、A 〱 E 四匁、↓前川）・円覚経修證集（A 〱 F ナシ）・空花集（二四冊、義堂和尚、A 〱 F ナシ、▼大和十）・玄要集（一冊、永覚、A 〱 F 一匁八分）・高泉洗雲集（二冊、A 〱 F 二〇匁）・山房雜録（三冊、A 〱 E 四匁五分、F 五匁）・地藏十輪經（五冊、玄禁三蔵、A 〱 D 六匁、E 八匁、F 一〇匁）・浄業図記（二冊、A 〱 E 二匁、F 二匁五分）・心外法語（三冊、B 〱 F ナシ、↑鈴木太）・禅宗或問（二冊、B 〱 E 一匁、F ナシ、↑風月三郎）・禅余或問（二冊、虎関、A 一匁八分、↓鈴木太）・東国高僧伝（一〇冊、仏国高泉 A 〱 E 一二匁、F 一七匁）・仏道論衡図（二冊、唐沙門智昇、A 〱 F 一匁七分）・楞伽経通義（六冊、A 〱 F 一三匁）  
 石 今川石摺甲斐流（A 〱 F ナシ）  
 尾崎七左（尾崎七・尾崎）  
 尾崎七左衛門。住居は京都寺町四条下ル町（元禄七年刊『琴曲抄』）。  
 儒 奇偶方數（一冊、安藤有益、C 〱 E 一匁五分、F ナシ）  
 医 回春発揮（三冊、岡本一抱子<sup>注31</sup>、A 〱 F 五匁五分）・鍼法秘粹（三冊、和田養賢、C 三匁、↓吉田三）

飯 歌仙色紙形抄(五冊、C↘Fナシ)・片岡山并富緒川

(九冊、C↘F八匁)・琴曲抄(二冊、A↘F二匁五分、

▼梅村弥)・浄土長哥注(一冊、頓阿、B↘Fナシ)・部

類哥合(三六冊、A↘E四五匁、F五五匁)・虫哥合(一

冊、長噺、C↘E八分、Fナシ、↑秋田平)・和歌虫合(一

冊、A↘E八分、F一匁三分)・和歌物あらがひ(三冊、

A↘E二匁二分、F二匁八分)

### 小田原や

柳宗系の書であり、『儒仏合論』を田原仁左衛門が産板していること  
から、あるいは田原の屋号か。

仏 儒仏合論(A↘Cナシ)・信心銘抄(三冊、岐山、A

↘F三匁)・仏語心論(一二冊、虎関、A↘F二七匁)・

仏語心論序跋鈔(三冊、瑞岩、A↘F三匁)・臨濟録瑞巖

抄(八冊、A↘F二七匁)

### 帯や

帯屋甚右衛門のことか。甚右衛門は「大坂中嶋肥後鳴町」(元禄三年  
刊「徒然草吟和抄」)。

偶 八卦源撰抄(三冊、F三匁、↑板木や市)

飯 源氏道しるべ(二冊、D↘F二匁)・用文章筆法(三

冊、D↘Fナシ)

### 園城寺

仏 涅槃事略(二冊、C↘F二匁五分)・律学発軔(三冊、

C↘F四匁五分)・琉球神道(五冊、袋中作、C↘E八匁、

F一〇匁、↑村上)

### 注

(1) C以下書名の項「古文後集片カナ同集註カナ付」となる。  
(2) C以下は「井上忠」のみとなる。

(3) ABでは書名を「頼原抄支流林」とする。

(4) 「い」の仏書にあり、次項のは「き」の仏書にある。訓み間違いを  
訂正したものであろう。

(5) Aは「袖保鈔」とあり、Bは不明。Cより「仙」となる。

(6) Dより「村上」となるから、恐らく「村上」の誤刻ならん。

(7) ABには「長恨哥函」とある。

(8) ABは三冊とする。

(9) Aは一冊とする。

(10) Cより田中の単独産板となるが、書名も「柳月山居詩」と変更される。  
産板者名の記載がないが、「ウスヤウ」も当然、並の「古今方彙」と同  
じ板元のはずなので、ここに入れて置いた。

(11) この書名がBにあるかいは不明。

(12) 作者名はEFのみにある。

(13) ABは二冊とする。

(14) 次項にある「孫略軍物語」に記すべきもので、誤記であろう。

(15) ABは一〇冊とする。

(16) 「分」のみ残されている。

(17) 「分」のみ残されている。



- 18) ABは書名を「銀鱗抄」とする。
- 19) A、Dは八冊とする。
- 20) C以後は次に載せる「十四経指南」に変わる。
- 21) C以後「洞雲」を削除する。
- 22) 本書の値段は「同」とあり、一つ前の「読書字義」のものと同じということがある。しかしFになると「読書字義」の値段が削除され、本書の「同」のみが残されている。
- 23) ABとC以下は異なる丁に記載されており、値段の変動の仕方がおかしいから、同名異本かもしれない。
- 24) ABでは書名を「宗祇筑波紀行」とする。
- 25) A、Cでは二冊とする。
- 26) ABでは他の丁にこの書名の記載がある。
- 27) ABは四冊とする。
- 28) ABは書名を「二十四孝謄解抄」とする。
- 29) ABは書名を「長恨哥二巻抄」とする。
- 30) Fは相板者「丁子半」を削除する。
- 31) C、Fは作者名「岡本一抱子」を削除する。